

一般質問

白石
議員

一、離島、青島・飛島・黒島等の振興について
二、松浦市離島振興計画について

質問

一、(1)離島振興法が施行されて58年が経ちます。青島、飛島、黒島にこれまでどんな事業が法に基づき展開されてきたのかお尋ねします。
(2)これらの島にどんな施策が行われ、予算は幾ら使われたのか伺います。
(3)水産資源の豊富な海に囲まれた島は宝と言われます。今後、どんな事業を考えているのか伺います。
二、(1)年々減少する島の人口を維持することは容易ではありません。人が住み続ける島にするためには、若者が居つく、また、皆が住み続ける魅力ある島にしなければなりません。その政策についてお尋ねします。
(2)住民の生活環境の整備や定住のための雇用創出等を進めるには、離島にとって交通の整備こそが最も重要です。その状況と政策についてお聞きます。
(3)青島地区における医者を見つけるとの約束は、いつどのように実行するのかお聞きます。
(4)法の期限切れ前に島の要望を把握し、島の振興策は何であるか、法に適用できる事業はないかなどを集中して取り組む必要があるかか。

答弁

一、(1)電気導入、簡易水道整備、医療施設整備、漁港とその附帯施設整備、小中学校及び社会教育施設の整備あるいは離島航路整備など数多くの振興策に取り組んできました。
(2)平成22年度決算では、教員住宅整備、体験型拠点環境整備、防波堤や漁港施設整備等に合わせて5千700万円となっています。
(3)市の総合計画に基づき製氷貯氷施設整備、漁港機能保全事業、学校屋内運動場整備等を進めてまいります。
二、(1)市の交流人口拡大、定住促進の取り組みの中で、水産資源や景観など離島特有の魅力を打ち出しながら努めてまいります。
(2)離島航路をどうして存続するかというところが、全力で取り組まなければならぬ課題だと思っております。
(3)医師の確保については、懸命に取り組んでいるところですが、結果として未だ実現できておりません。引き続き取り組んでまいります。
(4)可能な限り要望、意見を直接お聞きし、離島の安全安心の確保と振興につながる取り組みを今後もさらに進めていきたいと思っております。

一般質問

武辺
議員

一、松浦市学校適正配置検討委員会の答申に対する今後の取り組みについて
二、御厨蛇踊り保存会への支援策について

質問

一、(1)昨年9月から検討委員会が計6回開催されましたが、その答申の内容をお知らせください。
(2)住民説明会、保護者説明会の回数、アンケートの集約結果と主な意見はどんなものがありましたか。
(3)適正配置に向けた今後のスケジュールはどうなっていますか。市がもつとはっきりとした態度で臨まない、建設的な話に進めないかと思えますが、お考えをお聞かせください。
(4)学校は、防災拠点や地域住民の触れ合いの場という地域のシンボルの存在といった複合的役割を担ってきました。学校がなくなるといことは地域衰退につながるという地元の方々の不安があります。これを払拭する対策としての跡地活用や地域振興策を同時進行で検討すべきだと思いますが、どのようにお考えですか。
二、蛇の保管場所については、「市が責任を持って対応する」と約束されていますが、今年は水軍まつりで蛇踊りの活動は一応終了します。こ

答弁

一、(1)小中学校を適正な規模にする必要があり、複式学級解消のための統廃合が必要だというものです。
(2)田代、大崎、養源、青島の各小学校の住民、保護者に対して延べ12回の説明会を開催しました。アンケートの結果は、「子どもたちには集団でのスポーツや音楽、人間関係を学んでほしい」、「小規模校は先生の目が行き届く」、「子どもたちの将来を考え進めてほしい」などといったご意見を頂いております。
(3)今後はその意見を集約した基本計画案を作成し、パブリックコメントで寄せられた意見をもとに基本計画を作成し、説明の上で理解を頂いた後、統合への準備を進めてまいります。地域の意見を聞きながら、25年度にはできるところからスタートしていきたいと考えます。
(4)跡地活用も地域の活性化への要望に応える形で進めます。また、避難場所として役割を維持すべきと考えています。
二、保管場所については、公共施設の候補地を絞り込んでおり、できるだけ早い時期に市の考えをお示しいたいと思っております。